

初春 越生七福神巡り

ハイキング同好会 服部昌樹

2023 年、初めてのハイキングは「越生七福神巡り」から始めることになった。快晴の 1 月 10 日、越生駅西口に集合する。参加者は常連 6 人。越生駅東口駐車場(駐車料金 200 円/日)に車を止める。思いのほか渋滞はなく、ほぼ予定通りにつく。越生駅からは西口バス乗り場 9 時 22 分発「黒山行き」を利用する。バスが到着すると、30 名以上のハイカーが乗り込み満員になる。ほぼ全員「越生七福神巡り」のために乗り込んだようだ。観光協会が発行するパンフレットでは、一番目の全洞院は終点の黒山下車とあるが事前にストリートビューで確認すると一つ手前の「神社前」が最寄りらしい。我々が降りるのを見て、ほかのハイカーもそろそろ降りてくる。どうやら我々が先導の役目を果たしたようだ。ここでは渋沢平九郎の墓にも参る。



次は龍穩寺、道灌父子を祭る大きな由緒ある寺で、ここまでは尾根の張り出しを越えて 40 分程度。風が強くアップダウンもある。ただ車も通れる歩きやすい道だ。このころになると、道草を食っている我々は次々抜かされるようになる。



龍穩寺山門

3 番目は円通寺、この間、約 60 分、この間が一番長い。緩い林間の道を歩く。ただ林間のせいか山かげになるのか風を感じない。

円通寺付近から越辺川流域の平坦な耕作地/梅林地区を歩くことになる。この辺は地形のせいか風が強い。4 番目の最勝寺では、風のあたらない陽だまりにテーブルを見つける。12 時 15 分時間もよし、ここで昼食にする。



食後は、門前の豆腐屋で女性メンバーたちが豆腐を求める。豆腐を買ったのに、油揚げとおからがついてきて「おまけ」の方が多いと感激している。男性メンバーは誰も買わない。我が家に帰って、「なんでこれを買ってきたの！、豆腐料理を作れということ」とのたまう家内の顔が目浮かぶ。

越生梅林を横に見て通過、小高い山の上にある弘法山観音寺、越生旧市街にある正法寺、法恩寺に至る。このころになると冬の太陽は西に傾き弱々しく、寒さも増してきたようだ。でも最後の法恩寺の山門を出るとすぐそこに、「越生駅」がある。今日は 2 万 3 千歩。上り下りはあまりなかったが、長距離を歩いた。風があったものの、陽だまりで食事もとれて、今年初めてのハイキングは満足のゆくものではなかっただろうか。次回は 2 月 14 日(火)、行き先は日和田山。

以上

[illegible]